

歴史的建築物の保存再生のための人材育成

昨今、文化財保護の対象の拡大、歴史的建築物の活用の促進など、建築や都市の保存再生の社会的意義の認知やその実例が格段に広がりつつあり、またヘリテージ・マネージャーの養成が全国で進み、文化遺産保護を支える人材の裾野が広がってきています。そんな中、保存再生のデザインのあり方に多様な問題が立ち現れるようになってきました。

京都工芸繊維大学では、2015 年度より大学院建築学専攻に特別教育プログラム「建築都市保存再生学コース」を設置し、建築や都市の保存再生事業をリードする人材の育成に向けた教育研究を進めてきました。その蓄積を踏まえ、2020 年度より、社会人を対象とするリカレント教育プログラム「ヘリテージ・アーキテクト養成講座」を新たに開講いたしました。

本養成講座では、建築の実務に特化してリビング・ヘリテージの保存再生デザイン及び活用提案を行う高度な能力を有する人材、すなわち「ヘリテージ・アーキテクト」を養成することを目的とした教育を行います。

改修計画・設計の提案を通じた実践的講座

本講座は、オンラインを用いた講義形式の「講義」と大学外での改修現場などの「見学」、さらに受講生が実際の歴史的建築物を対象に実習形式で改修計画および改修設計を行う「プロジェクト」の、大きく 3 種類の授業で構成されています。

中でも「プロジェクト」は、本講座の目玉となる授業です。既存の歴史的建築物を対象とし、受講生が改修計画や改修設計を行います。転用後の機能を各自が設定し、建物の価値に応じた改修デザインを提案します。その提案に対して、本学教員や学外の専門家を交えた「講評会」を繰り返し、「最終講評会」を目指します。

ヘリテージ・アーキテクト養成講座 2025

京都工芸繊維大学 社会人対象リカレント教育プログラム 履修証明プログラム

■対象者

以下の（A）または（B）のうち少なくとも一方を満たし、歴史的建築の保存再生デザインに強い関心をお持ちの方。

（A）建築士（一級、二級、木造建築士のいずれか）資格保持者

（B）ヘリテージ・マネージャー（文化財マネージャー）修了認定保持者

なお（B）の場合は、高校以上の学校において、建築系分野の学科や学部等を卒業あるいは修了していることが必要である。履修証明プログラム受講申請書の「最終学歴欄」でそれを示すこと。もしその学校が最終学歴でない場合は、最終学歴とともに記入する。

■選考方法

応募資格を満たしていることを確認した上で、受講申請書の「ヘリテージ・アーキテクト養成講座 志望理由」に書かれた内容をもとに専任教員が協議し、選考いたします。

■開催日時

2025 年 9 月 20 日（土）～ 2026 年 2 月 14 日（土）、

隔週土曜日 10:30 から 17:40（17:10）

第 2 回 9 月 27 日（土）、第 9 回 2026 年 1 月 10 日（土）は、

1 限見学会①②のため、10:00 開始

（全 11 回 計 62.5 時間）（予定）

■開催場所

第 1 回（9 月 20 日）、第 4 回（10 月 25 日）、第 8 回（12 月 20 日）の 3 回の講義は、1 限から 4 限（3 限）まで全てリモート講義となります。

第 6 回（11 月 22 日）は 1 限から 4 限までハイブリッド講義（対面講義とリモート講義併用）となります。

プロジェクト講評会と当日午前中の講義は大学内で受講となり、見学会①②・プロジェクト見学会／実測調査は京都市近辺での見学および調査を予定しています。

第 10 回（2026 年 1 月 31 日）は講義、プロジェクト講評会とも京都市京セラ美術館にて行います。

・対面講義（プロジェクト講評会と当日午前中の講義の開催会場）：京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス内

■募集人数

2025 年度 30 名程度

（最低実施人数（10 名）より開講）

■申込期間

申込開始： 2025 年 5 月 12 日（月）

申込締切： 2025 年 7 月 18 日（金）（当日消印有効）

【そのほか詳しい募集要項については、裏面をご覧ください】



■申込方法

履修を希望する方は、次に挙げる書類を郵送してください。

(1) 履修証明プログラム受講申請書



【Word 版】 【PDF 版】

(2) 最終出身学校の卒業証明書または修了証明書、もしくは卒業見込証明書または修了見込証明書（卒業・修了証書の写し可）。(B)「ヘリテージ・マネージャー（文化財マネージャー）修了認定保持者」枠で応募される方は、建築系分野の学科や学部等における同様の書類も提出してください。

受講生「最終成果物」の知的財産権の取扱いについて、以下のページの内容をご確認ください。受講申請書の「最終成果物の知的財産取り扱いについて」欄で、知的財産権についての規定をご承認いただいた方のみ、受講申請書を受け付けます。

⇒知的財産権の取扱い



■履修証明書の交付

62.5 時間すべての講座に出席された方には、本学発行の履修証明書を発行します。

参考：大学の履修証明制度について（文部科学省 HP）



■申込先

宛先 〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町 1
京都工芸繊維大学 学務課 連携教育係

■受講料

120,000 円 (1 人)
※受講料は受講が許可された後で納付してください。
入金確認後、受講可能となります。
※見学会、プロジェクト見学会当日の入館料、交通費等は自己負担となります。（講座開始後、雑費（見学先へのお礼等）を別途徴収します。）

■教育訓練給付制度

本講座は、厚生労働省の「教育訓練給付制度（特定一般教育訓練）」講座に該当し、一定の条件を満たせば受講料の 40%の補助を受けられます。受講決定者にはそれに関する案内書類も同送しますので、内容を確認の上、希望される方は必要な手続きを行ってください。

■CPD

本講座の講義科目は建築士会 CPD プログラムに認定されています。

■後援

一般社団法人日本イコモス国内委員会
一般社団法人 DOCOMOMO Japan
京都文化財マネージャー育成実行委員会
（NPO 法人古材文化の会、京都府教育委員会、京都市、公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター、一般社団法人京都府建築士会）
京都工芸繊維大学 KYOTO Design Lab

■問い合わせ

京都工芸繊維大学ヘリテージ・アーキテクト養成講座事務局
E-mail : hakit@kit.ac.jp
※問い合わせは、メールにて事務局にお願いします。
※返信には 2、3 営業日かかることをご了承下さい。
※月曜日～金曜日、9 時～17 時
（土日祝日の問合せは週明け月曜日以降になります。）

■ホームページ

https://www.hakit.kit.ac.jp →



2025年度 講座内容・日程表

日程	形式	テーマ	10：00 ～	午前	昼 休憩	第2限	休 憩	午後	休 憩	第4限
				第 1 限 10：30～12：00		12:50～14：20		第3限 14：30～16：00		16：10～17：40（17:10）
9月20日 （土）	リモート	理念		オリエンテーション 京都工芸繊維大学 清水、花田 笠原、中山、マルティネス		講義 保存再生の枠組 京都工芸繊維大学 清水重敦		講義 保存再生の理念と方法 京都工芸繊維大学 マルティネス・アレハンドロ		講義 保存再生のデザインと評価 京都工芸繊維大学 笠原一人
9月27日 （土）	対面			見学会① 京都市近辺の保存再生事例 京都工芸繊維大学 魚谷繁礼		プロジェクト／見学会 プロジェクト対象3物件見学				17:10
10月11日 （土）	対面			講義 文化財建造物と調査 長岡造形大学 津村泰範		プロジェクト／実測調査 花田佳明 笠原一人 ゲスト講師：津村泰範				17:10
10月25日 （土）	リモート	マネジメント		講義 保存再生と不動産 マツシシティ／みんなの不動産 末村巧		講義 保存再生と法規 建築再構企画 佐久間 悠		講義 保存再生と歴史調査 清水建設 平井直樹		
11月8日 （土）	対面	マネジメント		講義 保存再生とマネジメント アークブレイン 田村誠邦		周辺調査・プログラム提案		プロジェクト／講評会 ① 清水重敦 花田佳明 マルティネス・アレハンドロ ゲスト講師：田村誠邦		
11月22日 （土）	ハイブリッド	構造・技術		講義 保存再生と構造 京都工芸繊維大学 満田衛資		講義 保存再生のデザインと方法 京都工芸繊維大学 花田佳明		講義 保存再生と施工・技術 竹中工務店 中嶋徹		講義 保存再生と都市計画 日本郵政 黒木正郎
12月6日 （土）	対面	構造		講義 文化財構造物と構造 文化財構造計画 富永善啓		歴史・構造評価		プロジェクト／講評会 ② 花田佳明 中山利恵 マルティネス・アレハンドロ ゲスト講師：富永善啓		
12月20日 （土）	リモート	デザイン		講義 保存再生と建築士 京都工芸繊維大学 中山利恵		講義 保存再生デザインの実践 wyes architects 齋賀英二郎		講義 保存再生デザインの実践 メグロ建築研究所 平井充		講義 保存再生デザインの実践 Heritage Design Associates 田原幸夫
1月10日 （土）	対面			見学会② 京都市近辺の保存再生事例		プロジェクト／講評会 ③ エスキース検討会 清水重敦 花田佳明 マルティネス・アレハンドロ ゲスト講師：西澤徹夫建築事務所／京都工芸繊維大学 西澤徹夫				17:10
1月31日 （土）	対面	デザイン		講義 保存再生デザインの実践 AS 青木淳		デザイン・設計提案		プロジェクト／講評 ④ 花田佳明 笠原一人 中山利恵 ゲスト講師：青木淳		
2月14日 （土）	対面					最終プレゼンテーション		プロジェクト／最終講評会 清水重敦 花田佳明 笠原一人 中山利恵 マルティネス・アレハンドロ ゲスト講師：田原幸夫 京都橋大学／Mega 建築設計事務所 長坂大		

・オリエンテーション1.5時間×1コマ(1.5時間)+ 講義 1.5時間×18コマ (27時間)+ プロジェクト1.5時間×3コマ×7回－0.5時間×3コマ (30時間)+ 見学会 2.0時間×1コマ×2回 (4時間) = 合計62.5時間（講義 27コマ、プロジェクト（見学会） 4コマ）
・第4回10月25日（土）「マネジメント」、第6回11月22日（土）「構造・技術」、第8回12月20日（土）「デザイン」は、本学大学院・建築都市保存再生学コースの講義にも設定され、学生も聴講します。 プロジェクト（見学会） 4コマ
・第1回9月20日（土）、第4回10月25日（土）、第8回12月20日（土）は1限から3限あるいは4限までリモート講義、第6回11月22日（土）はハイブリッド講義（対面講義とリモート講義併用）となります。 プロジェクト（講評会） 4コマ



改修プロジェクト対象建物見学会



改修プロジェクト講評会風景



改修プロジェクト最終講評会風景



受講生の改修プロジェクト案